

(1) 環境保全活動

- ① 志賀高原ユネスコエコパークプロジェクト「ABMORIーいのちを守る森づくり」に参加し、人が開発し放置してしまった志賀高原のスキー場跡地の再生に各学年で取り組みました。今年度は1年生～6年生が学校で育てた苗を6年後に志賀高原で植樹するまでの育苗サイクルを確立することができました。

< どんぐりの苗づくり活動 (1.2年生) >

・志賀高原で生まれたどんぐりを植えて5.6年後に志賀高原に育った苗を植えるための準備をしました。どんぐりにふかふかの土をやさしくかけてあげ、春に芽を出すことを祈りながら活動しました。



「どんぐり」をプランターに植えました。



・芽が出ている「どんぐり」にびっくりです。

< 苗の山採り、育苗活動 (3.4年生) >

・スキー場跡地で芽を出し育ち始めた苗を育苗畑に移植する作業に取り組みました。土のついた苗を掘り運ぶ作業は重労働でしたが仲間と協力しやり遂げた喜びを味わうことができました。町関係部局、志賀高原の地域の皆さんとともに取り組む中で地域の志賀高原の自然を守っていくことの大切さを感じることができました。



・周りの土を残すように苗を掘り起こします。



・育苗畑に苗を植え丁寧に土を盛ります。

< スキー場跡地で植樹活動 (5.6年生) >

・昨年度に引き続き、町主催の植樹活動に参加しました。長野オリンピック開催時に伐採された志賀高原の樹木から生まれたコカリナを全国から来られた参加者の前で演奏することができました。その音色は志賀の山々に美しく響きました。植樹作業は昨年度の体験をもとにグループで役割を分担し、効率よく取り組みました。一緒のグループで活動した県知事さんや町長さん、市川海老蔵さんにもがんばる子どもたちを認めて頂き、とてもうれしく思い

ました。子どもたちからは「この志賀高原の自然をずっと守っていきたい。」という感想も聞かれました。



・心を込めてココリナを演奏しました。



・森林再生のため植樹活動に取り組みました。

＜ 志賀高原の蓮池で外来種駆除活動 ＞

○6年生が志賀高原の蓮池で、外来種の駆除活動に地域の皆さんとともに参加しました。本校の6年生はこの活動の中でエコパークを理解し志賀高原の現状と課題から今後の取組に目を向ける学習につながっています。伐採した樹木を運ぶ作業は大変ですが自分たちの取組が自然を守ることにつながると考え積極的に活動することができました。



・伐採した植物を協力して片付けました。

(2) リンゴ栽培活動

○3年生が果樹農家でリンゴ栽培を体験しました。摘花から収穫までの工夫や苦労した点をお聞きし実際に体験することを通して、生産者の思いに触れ、その生き方を学ぶことができました。



・実際に摘果の方法を教えてくださいました。



・農家の方からおいしいリンゴをつくる工夫をお聞きしました。

(3) まとめ

○ユネスコスクールとして2年目を迎え、環境という視点でESDを進めて参りました。上記に取り上げた活動の他にもそば栽培、志賀高原全校登山等、多くの活動の中で地域の人々に触れ、人と自然、人と人との共存や多様な生き方に学ぶ中で新たな価値観や行動を生み出す子どもの育成を進めていきます。

(2) 活動時間について（下記から選択して下さい。）

- 通常の授業時間を使用（総合的な学習の時間を含む）
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他（

）